

第40回一関地区広域行政組合一般廃棄物処理施設整備検討委員会会議録

- 1 会議名 第40回一関地区広域行政組合一般廃棄物処理施設整備検討委員会
- 2 開催日時 令和5年4月28日（金）午後1時30分から午後1時50分
- 3 開催場所 一関清掃センター会議室
- 4 出席者
 - (1) 委員 石川隆明委員長、菅原幹成副委員長、佐藤和浩委員、西山朋志委員、千葉光祉委員（菊地広美町民福祉課課長補佐 代理出席）、千葉敏紀委員、岩渕嘉之委員（千葉直子総務課課長補佐 代理出席）、佐藤正幸委員、菅原彰委員、蜂谷敏志委員
 - (2) 事務局 吉田健総務管理課長、菊池弘施設整備係長、石川勝志主査、日下尚也主事
- 5 議事
 - (1) 令和5年度の協議事項について
- 6 公開、非公開の別 非公開
- 7 協議内容
 - (1) 令和5年度の協議事項について
事務局 本日は、今年度に検討委員会において今後予定している協議事項について、5項目を予定しているので確認をお願いします。
(資料No.1により説明)
委員長 マテリアルリサイクル推進施設整備基本計画は、5月30日には全体案を取りまとめる予定となっているが、見込みとして何に最も時間を要すると見込まれるか。
事務局 現在、計画策定については日環センターに協力をいただきながら進めているところであるが、4月20日を期限にメーカーアンケートを実施している。その結果を取りまとめ、今後メーカーへのヒアリングを行う予定であるが、同時進行でアンケートの結果を参考に施設の配置等を検討する。その取りまとめと検討に最も時間を要すると思っている。
副委員長 令和5年度の協議事項に関するロードマップがあった方が分かりやすいのではないか。次回までに示していただけるとありがたい。
委員長 次回の会議前に作成し、配布すること。
事務局 承知した。
委員 「(4) 事業者選定及び要求水準書作成の報告」で「事業者選定委員会（仮称）」とあるが、こういった構成をイメージしているか。
事務局 事業者選定委員会については、職員だけではなく、専門家、弁護士等も入って

いただくことを想定している。詳細は、事業者選定アドバイザー業務を業者委託後に、委託業者と協議して委員の選出を進めることになると考えている。

委員 「(4) 事業者選定及び要求水準書作成の報告」に「検討委員会では、進捗状況を必要に応じて報告する。」となっているが、検討委員会とは全く違った方々で検討を行い、その進捗状況を必要に応じて検討員会に報告すると理解してよいか。

事務局 お見込みのとおりである。

委員 「(5) ごみ処理の基本的な考え方」の一番下の「集団回収への誘導」と「資源物の民間収集」については、今後、一関市と平泉町の担当課レベルで協議する案件となるか。

事務局 構成市町だけではなく、これを組合でどうするかという話になるので、組合も含めた3者で話し合いをさせていただいたうえで、組合としてどういう対応をしていくか、協議をさせていただきたいと考えている。

委員長 決定と報告の使い方であるが、協議は構成市町を含めて行い、決定は最終的には組合で行うのか。

事務局 協議は市町と組合で行い、決定は組合で行いたい。

委員長 検討委員会での扱いは、検討してきた内容を決定するということではなく、報告、協議するということか。検討するということになるか。

事務局 第36回の検討委員会の中で、こちらについては施設整備には直接関わるものではないということで、構成市町と組合の中でどういうことやっていくかを決定し、検討委員会の中でも情報共有をさせていただくこととしている。

8 担当課 総務管理課